

平成28年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

| I 文化事業目標 | 評価項目 | 指定管理者提案(要旨) | H28年度計画 | | 実施状況 | | 評価 | | | | |
|---|---|--|---|--------------------|------------------|----------------------------------|--|-------|----|------|---|
| | | | 達成指標 | 目標 | 実績 | 説明 | 自己評価 | 行政評価 | | | |
| 1 能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会の提供 | 自然環境や空間特性を生かし、社会的包摂を意識し幅広い市民が能楽等を知り、学ぶことができる事業の実施 | 「日本舞踊鑑賞と体験の会」 | ■実施時期 | 4月 | 4月24日 | — | 日舞講座受講生募集のためのワークショップ型公演として実施。 幅広い世代の参加があったが、目標に届かず。 アンケート回収率57.4% 能楽鑑賞講座受講生募集のためのワークショップとして実施。 熱心な参加者が多く、時間を超過して実施。 アンケート回収率48.4% 能楽鑑賞・仕舞講座受講生募集のためのワークショップとして実施。 目標の半数に届かなかったが、参加者は熱心だった。 アンケート回収率65.2% 横浜音楽祭2016 パートナー事業「舞囃子コンサート」 高水準だが大人好みで目標を達成できなかった。 アンケート回収率64.6% 由干しを兼ねた恒例の装束展示。同時開催の講演は能装束の修復を専門家の講演で、また能面作品展示も実施。 目標に及ばなかったが、熱心なお客様が多かった。 アンケート回収率66% 年1回の能の主催公演。分かり易く親しみやすい能を、久良岐の宝生流講師のシテで実施。 予定を上回る盛況だった。 アンケート回収率77.1% 毎年定例の狂言会。在京各家の特色を味わえる公演となった。 満席の盛況となった。 アンケート回収率81.8% 能は内容を知らないとなしめなない。公演前にシテを助める能楽師と解説者により詳しく学べるワークショップ。 能を理解したい熱心なお客様ばかりだった。 アンケート回収率66.7% 地域市民と協働して開催する久良岐まつり。22日は能舞台の市民利用の日、23日は能楽を一般市民に馴染んで頂く日とした。 ①「童謡とダンスのコンサート」+「童謡と日本歌曲コンサート」(横浜童謡協会主催) ②「狂言道場」 合計300名を超える盛況でした。22日は可愛い子ども達が多数出演とあって、1日中賑わった。 アンケート回収率89.3% | ■実施時期 | 5月 | 5月7日 | — |
| | | | □参加者数 | 70名 | 47名 | C | | | | | |
| | | | □顧客満足度 | 90%以上 | 96.2% | B | | | | | |
| | | | ■実施時期 | 5月 | 5月7日 | — | | | | | |
| | | | □参加者数 | 50名 | 30名 | C | | | | | |
| | | | □顧客満足度 | 90%以上 | 100% | A | | | | | |
| | | | ■実施時期 | 5月 | 5月15日 | — | | | | | |
| | | | □参加者数 | 60名 | 28名 | C | | | | | |
| | | | □顧客満足度 | 90%以上 | 100% | A | | | | | |
| | | | ■実施時期 | 9月 | 9月25日 | — | | | | | |
| | | | □参加者数 | 70名 | 39名 | C | | | | | |
| | | | □顧客満足度 | 90%以上 | 98.6% | B | | | | | |
| | | | 2 市民の能楽等への関心や理解を深める機会として、久良岐能舞台所蔵の能装束等の展示・公開の実施 | 「所蔵能装束公開展示+能面展示」 | ■実施時期 | 9月 | | 9月3日 | — | | |
| | | | | | □参加者数 | 50名 | | 36名 | C | | |
| | | | | | □顧客満足度 | 90%以上 | | 78% | C | | |
| 3 新規利用者の増加に向け、能楽等を中心とした様々な伝統芸能鑑賞等の機会の提供 | 「能楽の魅力を知る会 能花月」 | ■実施時期 | 1月 | 1月15日 | — | | | | | | |
| | | □参加者数 | 100名 | 113名 | A | | | | | | |
| | | □顧客満足度 | 90%以上 | 100% | A | | | | | | |
| 4 ワークショップ等による能楽等の市民の関心や興味を広げる普及啓発事業の実施 | 「能楽の魅力を知る会 事前ワークショップ 能花月を知る」 | ■実施時期 | 12月 | 12月18日 | — | | | | | | |
| | | □参加者数 | 50名 | 33名 | C | | | | | | |
| | | □顧客満足度 | 90%以上 | 100% | A | | | | | | |
| 5 愛好家未満の立ち位置にある市民へのアプローチ | 久良岐まつり 能舞台イベント | ■実施時期 | 10月 | ①10月22日 ②10月23日 | — | | | | | | |
| | | □参加者数 | 100名 | ①264名 ②55名 | A | | | | | | |
| | | □顧客満足度 | 90%以上 | ①97.5% ②100.00% | A | | | | | | |
| 2 子どもたちへの文化芸術へ触れる機会の提供、能楽等の継承のための取組 | 6 地域コミュニティを巻き込んだ、インリーチ事業等による、能楽等の伝統芸能の体験講座の実施 | 「小学校向け狂言鑑賞教室」 ※ 磯子区・港南区・南区の公立小学校6年生対象 | ■実施時期 | 11月(3日間) | 11月14日、15日、16日 | — | | | | | |
| | | | ■参加者数 | 15校 1,400名以上 | 参加校16校 1,253名 | B | | | | | |
| | | | □顧客満足度 | 90%以上 | 100% | A | | | | | |
| | 7 横浜市芸術文化教育プラットフォーム等のアウトリーチ事業により、幅広い子どもたちへの能楽等体験事業の実施 | 「狂言鑑賞教室」 | アウトリーチ事業 | ■実施時期 | 参加希望校と調査 | 10月4日、11月21日、12月9日、12月12日、12月20日 | — | | | | |
| | | | | ■参加者数 | 参加希望校による(5校程度) | 5校 504名 | — | | | | |
| | | | | ■顧客満足度 | 90%以上 | — | — | | | | |

平成28年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|---|------------------------|--|--|---|---|--|--------|---|---|--|--|
| 3 能楽等の稽古、発表その他の活動支援の取組 | 8 | 能楽等の稽古、発表等の活動支援に向けた外部専門家による助言・指導体制等の確保 | ■それぞれの講座に各流儀の能楽師を指導者として迎えて実施(日本舞踊講座においても同様) | 実施 | 達成 | — | 流儀ごとの専門家(玄人)を講師として迎える。講座、流儀ごとの稽古・発表会にて適切に助言・指導を実施。 | 【成果】 ・久良岐能舞台で行われている全ての能楽等(日本舞踊を含む)の稽古、発表等の活動について、専門家による指導・助言体制は完全に確立しています。 ・利用者情報、活動継続に向けた情報の提供や支援を実施、宝生流(宝生会)の会員が1名、新たに増加。 ・利用者団体の会員募集支援などの結果、28年度中に茶室利用 2グループ、婚嫁写真等の前借り利用が毎月2件程度(市内事業者4社)、新規利用に繋がりました。 | 【評価できる点】 ・利用団体の活性化に向けた支援を行い、団体の会員を増加する実績をあげ、来館者数を増やすなどの成果を上げたことを評価します。引き続き、利用者情報の発信等の継続を期待します。 | | | | | | |
| | 9 | 利用者情報、活動継続に向けた情報の提供等による活動支援の実施 | ■利用者情報の提供 | 実施 | 達成 | — | 施設HPの月間スケジュールに「見学可」と掲載するなど、利用者情報の提供、活動継続に向けての支援を適切に実施。 | 【課題】 ・伝統芸能の愛好者減少傾向の中、特に能楽等の利用者団体の活動支援、活性化に関し、より具体的な成果を得られる方策を検討します。 | 【改善が必要と考えられる点】 ・利用者支援として、現在の支援方法に限らず、団体側がどのようなサポートを求めているのかヒアリングを行うことで、新たな利用促進の取組に繋がると考えます。 | | | | | | |
| | 10 | 利用者団体の会員募集支援など新たな愛好者の発掘等による利用者団体の活性化の実施 | ■利用者団体の会員募集支援 | 実施 | 達成 | — | 施設を定期的に利用する団体の意向に沿い、「久良岐能舞台のお稽古案内」チラシを作成。主催事業に会員募集のチラシを配布、掲示板へ掲示等の実施。 | | | | | | | | |
| 4 能楽等の技術研鑽・育成支援への取組 | 11 | 能楽等の伝統芸能のすそ野を広げる様々な市民向けの謡曲・仕舞・囃子講座等の実施 | 「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(初級) ※ 喜多流、金春流、宝生流の3流で開催 | ■実施時期 | 6月から通年 | 6月から通年実施 | — | 年間196回。 | ■参加者数 | 各流8名以上 | 延べ388名 | C | 喜多流のみ定数未達だが要望強く実施。 | 【成果】 ・高齢化が著しい能楽愛好者の減少に対応して、若返りや新たな愛好者の育成を図るための事業として平成23年度から始めた能楽講座に関しては、2年コースの謡・仕舞講座で3期目の修了者を出し、公共施設においては能楽界で初めての通年型養成講座として注目を集めると共に、久良岐まつりイベントとして開催した講座受講生等による研鑽会(発表会)では目標のステップを達成し、大きな成果を挙げました。 成果:5年前に能楽講座開始に当たって講師の能楽師と共に設定した目標水準である、受講生による舞囃子の実現を、今年度の研鑽会において、シテ方各流で実施、謡、仕舞、囃子の各講座で目標を達成しました。 ・更に、日本舞踊基礎講座においても4度目の講座修了者を出しました。 成果:講座修了者の多くは引き続き当館において稽古に励んでいます。 ・能楽囃子に関して当館以外で学んだ経験者から合奏の受講希望があり、これらの希望者を含めた上級の囃子合奏研究会を実施しています。 ・日本舞踊を含め、能楽等の全ての講座を対象にステップアップのための指導体制を確立しています。 | 【評価できる点】 ・古典芸能の愛好者の育成に寄与するため、能楽等を鑑賞するだけでなく、実際に体験し、継続的に稽古をする機会を提供するとともに、囃子合奏や舞囃子等のステップアップをするための取組や受入を行っている点を評価します。 |
| | | | 「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(中級) ※ 喜多流、金春流、宝生流の3流で開催 | ■実施時期 | 4月から通年 | 4月から通年実施 | — | 年間196回。 | ■参加者数 | 各流5名以上 | 延べ364名 | C | 喜多流のみ定数未達だが要望強く実施。 | | |
| | | | 「久良岐能楽教室 囃子」 | ■実施時期 | 5月から8月 | 6月から10月実施 | — | 講師と調整の上、実施時期変更。年間28回 | ■参加者数 | 8名以上 | 延べ58名 | C | | | |
| | | | 「日本舞踊基礎教室」※2年制 | ■実施時期 | 5月から通年 | 5月から通年実施 | — | 年間86回。 | ■参加者数 | 10名以上 | 延べ429名 | C | 定数未達だが要望強く実施。 | | |
| | | | | ■顧客満足度 | 90%以上 | 100% | A | | | | | | | | |
| | | | | ■顧客満足度 | 90%以上 | 100% | A | | | | | | | | |
| | 12 | 能楽等の経験者を対象とした講座の実施による、ステップアップのための指導体制を設定 | ■実施時期 | 通年 毎月1回 | 17回開催 | — | 研鑽会参加のため、集中的な稽古を実施したことによる回数の増。 | ■参加者数 | 12名以上 | 延べ154名 | C | | 【課題】 ・講座導入3事業の平均参加率は57.9%と、講座開始以来最低の集客となり、伝統芸能の集客の困難な状況を再確認し、改めて今後の方策の再検討が認識されました。 ・能楽教室喜多流の初級(謡・仕舞)、喜多流の中級(謡・仕舞)の受講者数が定数に達していませんが、受講者の強い希望により開催しました。受講生が集まりにくい理由として開催時刻が昼間(午後1時~5時)であり、多くの人が働いていることがあります。昼間の唯一の講座でもあり、夜間には受講できない市民への窓口としては欠かせないため、能楽愛好者未達への新たなアプローチを検討します。 ・日本舞踊基礎教室においても新規受講者が定数に達しませんでした。講師・受講生双方の熱意により開催しました。日本舞踊は市内にも多数の教室があり、非常に競争が激しい世界ですが、新たなアプローチ等により受講生の増加を図ります。 | | |
| | | | ■顧客満足度 | 90%以上 | 100% | A | | | | | | | | | |
| | 13 | 能楽等の講座受講者・愛好者等の活動発表の場を提供、積極的な担い手育成の実施 | ■能楽や日本舞踊等の伝統芸能を学ぶ講座受講生や愛好者に活動の成果を発表する場として久良岐まつりイベントなどを設定し、伝統芸能の積極的な担い手として育成 | 実施 | 10月15日、10月16日、10月30日実施 | — | ・久良岐能楽講座受講生研鑽会(喜多流、金春流、囃子) 10月15日 参加者数59名 ・日本舞踊基礎講座受講生発表会 10月16日 参加者数29名、講師8名、観客41名 ・宝生流研鑽会 10月30日 参加者数46名 | | | | | | | | |
| | 5 能楽等と市民を結びつけるための情報提供及び広報・プロモーション活動の実施 | 14 | WEB ページ等による施設案内、講座情報等の積極的な情報発信の実施 | ■情報提供サイト上に、施設案内情報、施設利用情報、自主事業情報等を掲載 | 実施 | 達成 | — | HPにて施設の紹介、各種情報提供を実施。 | 【成果】 ・WEBページの毎日更新は着実に実施し、常に最新情報に更新すると共に、職員によるスタッフブログ等での馴染みやすい記事等で閲覧数は安定しています。 ・自主事業等の情報提供はWEBページの他、訴求力があるチラシ制作を心がけ、市内外の公共施設、文化施設、鉄道駅等着目されやすい場所にチラシ配架を行う他、近隣地域では公共及び自治会掲示板等にも掲示して市民の身近な場所での情報提供に努めました。その結果、公演におけるお客様アンケートでは、初めての来館者が44.5%に対して、2回以上の来館者が54.4%と、昨年度に比して3.6%複数回の来館者が増加しました。 ・個人情報保護や人権侵害について、年1回の社内研修を実施し、職員の意識向上を図って、適切な施設運営に努めました。 | 【評価できる点】 ・施設や事業の魅力伝えるための情報発信を適切に行うことにより、初めての来館者やその後のリピーターの拡大に向けて積極的に取り組んでいることを評価します。 ・個人情報の漏えい等がないよう、随時研修を行うなど、職員一人一人が個人情報の取扱いに注意するための意識づけが行われていることが確認できました。 | | | | | |
| | | | | ■ホームページ上の掲載情報は常に最新の情報に更新 | 実施 | 達成 | — | ・年間HPアクセス数92,561件 ・スタッフブログ閲覧アクセス数3,605件 ・掲載情報更新 毎日実施 | | | | | | | |
| | | 15 | 紙資料、ICT等を活用し、より身近に感じられるような広報・プロモーションの実施 | ■チラシやホームページ上への掲載、新聞等のマスメディアを通じた広報等、様々な方法、メディア等を通じて市民の目に触れる機会の拡充 | 実施 | 達成 | — | ・自主事業情報等の新聞、雑誌等のメディアに掲載放送(J-com)1件、新聞7件、フリーペーパー6件、雑誌等2件、広報よこはま2件 ・自主事業等のチラシ配架 合計350か所 ・DM配架 年5回実施 配架数1,054通 ・施設の情報提供 伝統芸能関係173件ほか632件 | 【課題】 ・施設の周知向上、より分かり易く閲覧しやすいWEBによる広報の展開を目標とし、WEBサイトの再構築に向けて検討を進めます。 | | | | | | |
| ■ICTの進展に添ってより多くの通信系メディアによる情報アプローチにも応えられるように検討 | | | | 実施 | 検討実施 | — | 多様な通信系メディアによる情報アプローチを引き続き検討。 | | | | | | | | |
| 16 | | 魅力的で訴求力があり、丁寧で分かりやすい情報提供の実施 | ■丁寧で分かりやすい内容を併せた、訴求効果のある情報提供を推進 | 実施 | 達成 | — | 魅力が感じられるHPの運用。(映画製作会社、放送用CM制作会社、映像コンテンツ制作会社等から数件の引き合いあり) | | | | | | | | |
| 17 | 人権侵害や個人情報漏えい等への適切な配慮 | ■個人情報の漏洩や利用者、市民の人権を侵害することが無いように適切な運営管理を実施 | 実施 | 達成 | — | 利用者や参加者に関する情報等、個人情報や人権に関する事項に適切に配慮し、運営を実施。 | | | | | | | | | |

平成28年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

| | | | | | | | | | |
|-----------------------|----|--|---------------------------------|------------|------------|---|--|--|---|
| 6 能楽等に関する地域との連携、事業の実施 | 18 | 施設と地域の相乗効果を発揮し、能楽施設に親しみ、伝統芸能の楽しさを味わうための事業の実施 | 「第10回久良岐まつり」 ■実施時期 | 10月22日・23日 | 10月22日・23日 | — | 能舞台催事 ・10月22日横浜重謡協会コンサート 参加者数 254名、顧客満足度 97.5%、アンケート回収率 44.1% ・10月23日狂言道場 参加者数 55名、顧客満足度 100%、アンケート回収率 82.7% | 【成果】 ・「第10回久良岐まつり」は地元市民との連携・協働によりリニューアルして開催しました。能楽講座受講生や日本舞踊基礎講座受講の主要な発表の場として、日ごろの研鑽の成果を市民の方々に見て頂きました。また地域市民による音楽発表なども多彩な番組が能舞台、庭園仮設舞台の両方でこれまで以上に賑やかに行われました。久良岐まつりを主導している久良岐能舞台に対し、地域の岡村地区連合町内会長より、地域文化の振興に対して感謝状を受領しました。 | 【評価できる点】 ・「久良岐まつり」は、地域と継続的に連携する機会とよりリニューアルして開催しました。能楽講座受講生や日本舞踊基礎講座受講の主要な発表の場として、日ごろの研鑽の成果を市民の方々に見て頂きました。また地域市民による音楽発表なども多彩な番組が能舞台、庭園仮設舞台の両方でこれまで以上に賑やかに行われました。久良岐まつりを主導している久良岐能舞台に対し、地域の岡村地区連合町内会長より、地域文化の振興に対して感謝状を受領しました。 |
| | 19 | 市民協働の視点による企画、運営、清掃等のサポートスタッフの活用・発展等の実施 | ■市民協働の運営 | 実施 | 実施 | — | サポートスタッフによる運営への協働実施 事業運営:自主事業実施時6名、DM発送時4名 庭園清掃:91名 | 【課題】 ・市内の一部施設と事業連携を企画しましたが、連携対象とする事業の方向性や事業収支の面等、施設運営主体間(両指定管理者間)の調整が問題となり、今後継続的に検討を進めます。 | 【改善が必要と考えられる点】 ・市内の他の文化施設や指定管理者が管理を行う他施設と連携を行うことにより、新たな利用に繋げることや文化拠点としての役割の発揮を期待します。 |
| | 20 | 本社のノウハウの横展開、他の古典芸能施設、市その他施設・事業等との連携拡大に向けた取組 | ■他の古典芸能施設や横浜市の事業等との連携に取組み、または検討 | 実施 | 実施・検討 | — | 市内の一部の施設と事業連携を企画。 連携対象とする事業の方向性や事業収支の面等、施設運営主体間の調整が問題となり、今後継続的に検討を推進。 | | |

| 評価項目 | | H28年度計画 | | 実施状況 | | 評価 | |
|--------------------------------------|--|---|-------------------|-------------------------|--|--|---|
| II 施設運営目標 | 指定管理者提案(要旨) | 達成指標 | 目標 | 実績 | 説明 | 自己評価 | 行政評価 |
| 1 能楽等の稽古、発表その他の活動への施設の提供に関する取組 | 1 公共施設としての公平・公正かつ能舞台としての利用ルールの徹底等による適切な貸出業務の実施 | ■施設利用や提供について公平・公正に運用 ■能楽等の専門施設として適切な貸出業務を遂行 | 実施 | 実施 | 横浜市の公共施設として公平・公正に運用。 | 【成果】 ・自主事業の広報のみならず、外部からの問い合わせにも積極的に協力するなど様々な機会を利用して施設の周知に努め、利用率の向上を図りました。 ・諸室の戦略的営業を実施した結果、新規の利用者の増加と諸室の稼働率が向上し、大幅な利用料収入の増加を達成しました。 【課題】 ・施設の知名度の向上を図るため、伝統芸能以外の多くの市民が親しんでいるようなジャンルからコンサートを行う等、様々な方策を検討、実施します。 | 【評価できる点】 ・公共施設として、適切に市民へ施設を提供していることを確認しました。 ・利用率については、提案内容に基づき、施設近隣区で活動している団体へ営業活動等を実施するなどにより、目標を大幅に上回る実績をあげたことを高く評価します。 【改善が必要と考えられる点】 ・古典芸能の愛好者が減少しているという背景を踏まえ、広報強化策とともに、新規利用者の増加に向けた営業活動等の取組を継続してください。 |
| | 2 開館時間・休館日、利用料金・割引料金・減免等の適切な設定 | ■開館日数 ■開館時間 ■利用料金を適切に設定 ■年間休館日をホームページで公開 ■庭園内門扉の適切な管理 | 347日 | 347日 | 計画通り開館。 9時～22時 ※夜間区分の利用が無い場合は、事前に周知の上、17時で閉館 9時～22時 ※夜間区分の利用が無い場合は、事前に周知の上、17時で閉館 適切な開館時間の実施。 | | |
| | 3 支払方法等の利用者サービスの向上による利用促進の実施 | ■来館による利用申請手続きだけでなく、郵送による申請及び振り込みによる支払いを可能にし、利用者サービスを向上 | 実施 | 実施 | 郵送による利用申請及び利用料金の現金書留による支払を可能にし、利用者サービスの向上と利用者拡大を図る。 | | |
| | 4 利用率の適切な目標指標設定(コマ単位) | □能舞台(コマ単位) □和室(コマ単位) □茶室(コマ単位) | 50% 38% 11% | 60.4% 38.8% 14.1% | A B A | | |
| | 5 諸室の機能ごとに戦略的営業を展開し、新規利用者の増加に向けた取組 | ■本施設の機能に適した活動を市内の施設等で行っている愛好者団体等に積極的に働きかけ、新規利用者の増加となる取組の推進 | 実施 | 実施 | 利用者の増加に向けて、能舞台、和室、茶室等の機能に適していると思われる施設近隣区で活動している愛好者団体・グループをリスト化し、戦略的に働きかけを推進。 | | |
| 2 利用促進・利用者サービスの向上への取組及びアイデア・ノウハウの活用等 | 6 運営会議等によるPDCAサイクルの確立 | ■毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施 ■次年度事業計画への反映 | 実施 | 実施 | 自主事業公演等の際の高齢参加者への対応、喫煙者対策の実施。 改善点を次年度に反映。 | 【成果】 ・多くの施設見学希望者や利用者に対して、職員全員が親切丁寧に対応しました。 ・日報や日々の業務における問題点の発見、事業参加者や施設利用者からのアンケート集計結果などを検討対象としたPDCAの確実な運用を行い、自己業務評価を行いました。評価や点検の結果は全職員が共有し、次の業務改善へつなげました。 【課題】 ・施設利用者の増加を図るため、市内のコミュニティハウスや公会堂等でお稽古をしている伝統芸能愛好者のグループ等に提案営業等の活動を行い、新たな施設利用者の増加を進めます。 | 【評価できる点】 ・計画通り、利用促進の業務が行われていることを確認するとともに、利用者のニーズに合わせて運営の改善に取り組まれていることを確認しました。 ・また、未利用枠の利用促進に向けて、新たな利用者の掘り起こしや営業活動を実施したことにより、新規利用に繋がったことを評価します。 【改善が必要と考えられる点】 ・来館者数が、若干目標に達していないため、事業参加者数の増加対策等について検討を進めることが必要です。 |
| | 7 利用者アンケート、利用者との会議等による利用者ニーズの適切な把握、PDCAサイクルの実施 | ■アンケート回収後、翌日集計、職員等の関係者への回覧実施 ■事業終了後2週間以内の事業報告書作成と関係職員への回覧 ■直ちに実施できる改善点はすぐに実施 | 実施 | 実施 | 改善点を次年度に反映。 利用手続きの簡素化を望む意見があり、今後の検討課題とする。 | | |
| | 8 苦情・要望等への適切な対応、改善に向けた取組の実施 | ■利用者・見学者等からの要望や苦情は、直ちに主任、館長に報告し、軽微なものについては即時対応するとともに文化振興課に電話、メール等で報告 ■苦情・要望は、月次の運営会議に報告、討議し、職員全員で共有 ■苦情・要望を月次のモニタリング資料に掲載 | 実施 | 実施 | 利用者・見学者等からの苦情や要望なし。 | | |
| | 9 利用促進に向けた、未利用枠と潜在的利用者のマッチング営業等の実施 | ■利用が少ない未利用枠の利用促進に向けて、潜在的顧客の掘り起こしとなる提案営業やお試し会などの戦略的な営業を推進 | 実施 | 実施 | 未利用枠の利用促進に向けた潜在顧客のリスト化に着手。 | | |
| | 10 施設見学希望者への積極的な対応、利用者への配慮の実施 | ■施設見学の市民への対応は、施設利用者の迷惑にならない範囲で全職員が積極的に対応 □来館者数 | 20,000人以上 | 19,612人 | B | | |
| | 11 施設内覧会等の実施による新規利用者の獲得に向けた取組 | ■久良岐能舞台の更なる市民の認知を促し、新たな利用者の獲得のために施設の内覧会の実施を検討 | 実施 | 実施 | 施設利用の問い合わせに対し、積極的な案内を実施し、新規利用数件の成果あり。 | | |
| | 12 未利用枠の有効活用に向けた積極的な営業活動の実施 | ■貸館のうち午前などの未利用枠が多い時間帯について、潜在的顧客に対して、それぞれに適切な提案をするなどの戦略的な営業活動を実施 | 実施 | 実施 | 適切な営業により、若干の成果あり。来年度以後も継続。 | | |

平成28年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

| | | | | | | | |
|--------------------|--------------------------------------|---|----|------------|---|--|--|
| 3 運営組織の構造、組織的な施設運営 | 13 現場運営に最適な現場管理の実施 | ■能楽等の専門施設として必要な知見と実行のみならず、庭園に関する知識を持って注意深く管理に当たり、職員全員が対応する ■不足しがちな労働力をボランティアスタッフの協力を得て遂行 | 実施 | 実施 | — | 施設稼働率98%超に対応する現場運営、施設利用者の多様化に適切に対応。 II 3 17のとおり | 【成果】 ・能楽等の伝統芸能の専門施設として相応しい職員育成のため、都内等の近隣能楽堂での能楽公演での研修を推進し、能楽に関する知識や意識の向上を図りました。 ・高い知識や技能を有する専門家をアドバイザーとして委嘱し、自主事業等の企画制作の水準の維持向上を図りました。 【課題】 ・施設運営における市民協働を推進するため、業務の各面でのボランティアスタッフの配置活用を再検討します。 【評価できる点】 ・事務室のスペースの制約等があるものの、提案書に基づき、人員配置の増加を行うなど、安定的な施設運営に向けた取組を行っていることを確認しました。 ・庭園の清掃等、施設環境の維持や事業の実施においてボランティアスタッフを活用を継続する等、市民と協働した施設運営を継続して実施できる体制を整えていることを評価します。 【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。 |
| | 14 適切な人材の配置・職能 | ■館長(統括管理責任者):1名 職員・主任(現場運営管理責任者):1名 職員(施設運営等):5名 職員(事業企画等):1名 | 配置 | 達成 | — | 適切な人員配置。 | |
| | 15 積極的かつ適切な職員育成の実施 | ■運営会議等を通じた能楽等の専門施設に相応しい認識の理解の促進や他施設での能楽鑑賞等を実施 | 実施 | 実施 | — | 現場担当の全職員に研修を実施。 | |
| | 16 アドバイザーの配置・活用 | ■能楽、日本舞踊・邦楽、古典芸能全般それぞれの分野について、専門家をアドバイザーとして委嘱し、専門施設としての一定の水準を確保するよう活用 | 実施 | 実施 | — | 能楽、日本舞踊、邦楽等の専門家にアドバイザーを委嘱。 | |
| | 17 市民ボランティアの配置・活用 | ■公募による市民のボランティアスタッフ(サポートスタッフ)の事業企画、運営、庭園清掃等の各分野において活用を推進 ■市民協働の安定的な推進のため、ボランティア保険を付保し、市民と施設の利益となるように実施 | 実施 | 実施 | — | 平成28年3月末現在のボランティアスタッフ登録:13名 市民協働の安定的な推進のため、ボランティア保険を全員に付保。 | |
| 4 本市の重要施策を踏まえた取組 | 18 個人情報保護についての取組 | ■コンプライアンスの遵守と個人情報保護の徹底 □社内個人情報研修に基づき、確実な個人情報保護を実施する | 実施 | 実施 | — | 社内規定及び横浜市の方針に基づく個人情報保護及びコンプライアンスの遵守に関する研修を実施。 年1回 4月26日実施 | 【成果】 ・コンプライアンスの遵守、個人情報保護等に関する社内研修により、事務作業の適切な遂行が図れました。 ・自然豊かな環境を維持するため、所管の南部公園緑地事務所と連携して問題に対応しました。 ・幾つかの能楽等の催事に外国人の参加があり、ワークショップや鑑賞などの機会を提供しました。 ・施設の維持に関わる委託、管理に関わる物品の購入などで、横浜市内の中小企業に優先発注に貢献しました。 【課題】 ・来日外国人の能楽等の伝統芸能鑑賞やワークショップへの参加に関して、事前の予約が無い場合が多く、また、アフターコンベンション等MICEの対応において日程変更が多いことも実現を困難にしており、観光MICE振興への取組上の検討が必要と認識しました。 【評価できる点】 ・個人情報や人権の保護などに向けて、研修等を実施し、適切に業務が行われていることを確認しました。 ・日本の古典芸能の専門施設として、また、施設の有効活用に向けて、外国人に向けた対応等を運営面でサポートするなど、施設で実施ができることから積極的に取り組む姿勢を評価します。 【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。 |
| | 19 情報公開についての取組 | ■「各年度の業務計画書」「各年度の業務報告書」「各年度の休館日一覧表」のホームページでの公開、請求があった場合は事務所窓口において開示 ■施設の利用状況等、施設の貸出に関する情報は原則としてホームページに当該月の6か月先まで公開 ■その他の開示請求については、事務所窓口で対応し、必要に応じて文化振興課と協議の上で対応 | 実施 | 文書等の開示請求なし | — | 管理運営に関する文書、施設の利用状況、貸出に関する情報を、ホームページに掲載。 文書等の開示請求なし ホームページの年間閲覧件数:92,561件 開示請求なし。 | |
| | 20 人権尊重についての取組 | ■法令等を遵守して適正な管理業務を遂行 ■公正、公平な管理 ■利用者の意思及び人権を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供 | 実施 | 実施 | — | 適切に実施。 | |
| | 21 環境への配慮に関する取組 | ■施設内外の美観を維持するため、毎日、庭園内及び門前周囲の清掃を実施 ■環境上の問題になるような状況等を発見した場合、所管の南部公園緑地事務所と協議し、対応を依頼 | 実施 | 実施 | — | 適切に実施。 庭園内で樹木の倒壊や危険が予測され、南部公園緑地事務所と協議・対応を要請し、実施された。 | |
| | 22 市内中小企業優先発注についての取組 | ■委託、購入、どちらの場合も横浜市内の中小企業に優先的に発注 | 実施 | 実施 | — | 施設の維持点検、保守・修繕にかかる業務を市内の中小企業に委託。 | |
| | 23 (追加) その他 観光MICE振興につながる取組 | ■来日外国人へ能楽等の伝統芸能鑑賞の機会提供 | — | 実施 | — | ・来日外国人への伝統芸能鑑賞機会の提供につながる通訳者の団体へ能楽師を紹介(7月) ・来日外国人の参加 久良岐能楽講座研鑽会(10月15日):5名 日本舞踊基礎講座受講生発表会(10月16日):1名 | |
| | 24 (追加) 能楽等の伝統芸能に関する次世代の育成につながる取組の実施 | ■地域の子ども達を中心とする、能楽等の伝統芸能に関する次世代の育成に取組む事業を推進し、今まで以上に地域との連携を深め、市民の参加を推進 | — | 実施 | — | ・「小学校向け狂言鑑賞教室」(前掲):8年継続事業 ・「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」の狂言鑑賞教室(アウトリーチ)の実施(前掲):5年継続事業 ・「藤の木小学校」5年3組からの要請に対し、能楽師を派遣して能「鶴亀」の謡を学習・校内総合学習で発表、及び久良岐能舞台での発表:新規事業 | |
| 5 その他施設運営に関する事項 | | | | | | 【成果】 新規事業として地元の藤の木小学校5年の子どもたちによる能楽学習に協力し、金春流能楽師の山井綱雄師を講師として能「鶴亀」の謡学習を実施、12月に校内で、1月に久良岐能舞台で発表会を行う大きな成果を挙げ、伝統芸能による子どもたちの育成に成果をあげました。 【課題】 ・伝統芸能の継承に最も大切な次世代の育成の実現のため、地域との連携を更に深める検討を行います。 ・地域の学校における能楽等の学習には、次年度以後も引き続き協力を行います。 【評価できる点】 ・地域の文化拠点として、子どもを中心とした古典芸能の次世代の愛好者育成に向けて積極的に取り組み、学校や自治会等の地域と信頼関係を築いていることを高く評価します。関係者にとり、無理のない範囲で、能楽等の学習支援を継続的に行うことを期待します。 【改善が必要と考えられる点】 ・能楽等の学習支援については、施設の近隣区域だけでなく、市域への拡充等についても検討を進めてください。 | |

平成28年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%以内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

| III 施設管理目標 | 評価項目 | H28年度計画 | | 実施状況 | | 評価 | |
|--------------------------------|----------------------------------|---|--------------------------|--------------------------|--|---|---|
| | | 指定管理者提案(要旨) | 達成指標 | 目標 | 実績 | 説明 | 自己評価 |
| 1 施設・設備の維持保全及び管理 | 1 施設・設備・備品等の維持管理・保全業務の実施 | ■業務の基準に従い、適切かつ確実に業務を実施 | ■実施 | ■実施 | 施設・設備・備品等の維持管理・保全業務は適切に実施。 | 【成果】 ・庭園等の美観維持のための清掃管理は、職員による適切な維持管理活動のほか、久良岐能舞台サポートスタッフ(市民ボランティア)や南土木事務所所管のグリーンサポーター(ボランティア)も参加して実施し、これまで以上の活発な環境維持推進が行われました。また、庭園内3カ所の垣根の更新、巨大化した樹木の伐採や剪定が実施され、適切な庭園管理が行われました。 【課題】 ・能舞台の品質維持のため、宮大工等による専門家の点検と維持作業を検討します。 | 【評価できる点】 ・市と連携し、施設及び広大な庭園の管理に係る情報共有を行い、適切に管理が行われていることを確認しました。 ・施設管理のうち、大きな比重を占める庭園の環境の維持管理については、市民のボランティアを積極的に活用し、市民に愛着を持って施設に関わってもらいかけとする取組を継続していることを評価します。 【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。 |
| | 2 庭園等の周辺環境の維持管理・保全業務の実施 | ■安全で安心して利用できる久良岐能舞台の庭園環境を実現するため、所管の南部公園緑地事務所と緊密な連携を行い、快適な環境が保全されるよう対応 | ■実施 | ■実施 | 樹木の伐採、剪定を南部公園緑地事務所に要請し、実施された。 | | |
| | 3 警備・安全管理業務の実施 | ■見回りの実施等、敷地全体の犯罪や火災等への警戒と事故等の未然防止活動と安全管理を実施 | ■実施 | ■実施 | 多くの来館者、庭園散策の市民等の安全を確保するため、見回りの実施により犯罪や火災の警戒と予防に努めました。 | | |
| | 4 専門的な見地に基づく能舞台、能装束等所蔵品の管理実施 | ■能舞台の日常点検を実施 □専門家に意見を聞きながら装束の虫干し実施、定期的な防虫剤交換 | ■実施 年1回 | ■実施 9月2日 | ■能舞台の日常点検を実施 能装束を保管している鏡の間の除湿機を常時稼働。和室内の水取り剤、防虫剤を適宜交換。展示に併せて専門家による点検の実施。 | | |
| 2 小破修繕への取組 | 5 日常点検等による、きめ細やかな施設管理に基づく予防保全の実施 | ■毎日の清掃時に各部分の目視による点検を行い、変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、その状況に応じて対応 | ■実施 | ■実施 | ・天井照明蛍光灯交換 99本/年 ・舞台照明ハロゲン灯交換 4本交換 | 【成果】 ・施設の維持のため、全網戸の修繕等、長寿命化のための維持管理を実施しました。 【課題】 ・施設の老朽化が進んでおり、指定管理者で対応できることや日常点検は適切に実施していますが、引き続き市と連携し、順次設備更新等を行います。 | 【評価できる点】 ・利用者が、施設を快適に使用できるよう、指定管理者が対応できる範囲できめ細やかに施設管理が行われていることを確認しました。 【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。 |
| | 6 施設長寿命化の観点に基づく施設管理の実施 | ■施設を長寿命化する観点から、少しの不具合も見過ごすことなく、また、不具合に対しては直ちに適切に対応 | ■実施 | ■実施 | ・梅雨時等、平均的に湿度が高い時期は、施設の各所で湿度による腐食や膨張が発生し、扉や間仕切り、舞台の階が浮き上がるなどが発生した際も施設の長寿命化の観点から一部を使用見合わせにしたり、施設利用に支障が起きないように、対処。 | | |
| | 7 迅速かつ随機応変な施設管理・修繕対応の実施 | ■施設のいずれの部分においても不具合や破損等が発見された場合は、その状態に応じ適切に対応 ■小破修繕の対象となる場合は、できるだけ早く施設利用の妨げにならないように対応 | ■実施 ■実施 | ■実施 ■実施 | 不具合や破損が発見された場合、利用者の妨げにならないよう迅速かつ適切に対応。 | | |
| | 8 小破修繕の適切な実施 | ■職員が修繕対応する場合、施設利用者の妨げとならない時、施設利用が無い時、或いは休館日に実施 ■専門業者に委託する場合、市内の複数の業者から見積りを徴収し、最低価格の業者に委託 ■現に設置されている設備の場合は同一製造者の市内代理店等を基本とし、参考の為その他の業者からも見積りを徴収 | ■実施 ■実施 ■実施 | ■実施 ■実施 ■実施 | トイレット洗浄水量調整、障子紙破損等の場合、職員により対応。 古い湯沸器撤去、エアコン故障、分電盤ブレーカ故障、スイッチ故障等の場合、適切に業者選定の上、委託。 | | |
| 3 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理 | 9 庭園内の安全管理、火災予防の実施、危機管理対策 | ■大きく成長した樹木の多い庭園、純木造の建物の施設であり、安全管理や火災予防など、全体的な観点から安全管理等の危機管理対策を推進 | ■実施 | ■実施 | ・庭園内にある老化した樹木や警戒を要する枝、降雨時の滑りやすい階段や斜面で事故が発生しないよう、予防措置を実施。 ・庭園内における火気防止及び施設内における生火の防止を徹底。 ・災害の予測に基づく対応・対策・訓練を実施。 7/11 自衛消防訓練 7/19 磯子消防署指導による防災訓練、AED取扱い訓練 1/23 自衛消防訓練 | 【成果】 ・磯子消防署指導による防災訓練を実施しました。 ・庭園内における事故を未然に防止するため、巨大化樹木の伐採等、南部公園緑地事務所と緊密に連携して対処しました。 【課題】 ・強風雨等、激甚災害化する天候で被害を受けやすい谷戸地形にあるため、職員が適切に対応を行っているものの、効率的な対応処置方策について検討を行います。 | 【評価できる点】 ・緊急時に全職員が適切に対応できるよう、マニュアルの整備や防災訓練等を適切に実施していることを確認しました。 【改善が必要と考えられる点】 ・例年通りに防災訓練を行うのではなく、夜間等の人員配置が少ない状況や公園施設として起こり得る災害の対応など、公共施設として想定しうる様々なケースの対応を検討することを期待します。 |
| | 10 危機管理マニュアルの整備と非常時対策訓練の実施 | ■久良岐能舞台及び敷地等における災害の予測に基づく対応マニュアルの整備と、対策・訓練を実施 ■施設内及び庭園内における事故等の発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見や危機発生時の可能性に注意し、日常的に点検し、対処 □事故等発生時の対応について、防災訓練を全職員で実施 | ■実施 ■実施 | ■実施 ■実施 | 横浜市災害対策に基づき、危機管理マニュアルの整備を推進。 施設内及び庭園内における事故発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見、危機発生時の可能性を日常的に点検、対処。 磯子消防署の指導を受け、イベント開催時などを想定して防災訓練を実施。(7/19 前掲) | | |
| | 11 緊急時(事故・犯罪の発生時)の対応方針、対策 | ■緊急事態が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに、文化振興課を含む関係者に対して緊急事態発生を旨を通報、市と協力して原因調査を実施 | ■実施 | ■実施 | 防災訓練において対応措置の実施訓練を行う。 | | |
| | 12 感染症対策等の衛生管理の実施 | ■日常的に衛生管理を行うため、玄関の分かりやすく目に付くところに消毒薬を配置 ■新型インフルエンザ、感染性胃腸炎(ノロウイルス等)等の感染や拡大を防ぐ目的で、保健所の指導を受けて対応マニュアルを整備 ■汚物(嘔吐物や糞便)については、適正な方法で処理し、消毒 ■衰弱した鳥や動物、死亡した鳥や動物を発見したときは、磯子区福祉保健センターに対応方法を相談 | ■実施 ■実施 ■実施 ■実施 | ■実施 ■実施 ■実施 ■実施 | 玄関ショウケース上に消毒薬を配置。 感染症対策のマニュアル整備を推進。 感染症対策等の衛生管理は適切に実施。 鳥の屍骸を発見した際は、磯子福祉保健センターに報告し、専門業者に処理を委託。 | | |

平成28年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

| | | | | | | | |
|-----------------|--------------------------|--|----|------------|---|--|---|
| 4 防災に対する取組 | 13 緊急時の連絡体制・役割分担(職員体制) | ■久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に提出するとともに、全職員に周知徹底 | 実施 | 実施 | — | 久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に報告すると共に、全職員に周知。 | 【成果】 ・親子消防署の指導を受けて年2回の定期的な消防・防災訓練を実施、全職員が円滑な対応ができるようになっていきます。 【課題】 ・施設のスペースに限界があることから災害発生時への十分な備蓄はできておらず、今後に向けた検討を進めます。 【評価できる点】 ・業務の基準等に基づき、防災訓練や災害対応等が適切に行われていることを確認しました。 【改善が必要と考えられる点】 ・特筆すべき事項なし。 |
| | 14 自衛消防組織の結成、平常時の防火・防災対策 | ■甲種防火管理者を選任すると共に久良岐能舞台防災計画書を作成し、所轄の親子消防署に提出 ■自営消防組織を結成し、日常の防火、防災に努める □横浜市防災計画に基づき、定期的に消防、防災訓練を実施 | 実施 | 実施 | — | 自衛消防組織と平時の消火・防災対策の実施。 久良岐能舞台の職員数は少人数であるため、全員が消火・避難・連絡に当たれるように対応。 消火・防災訓練の実施。(Ⅲ 3 9のとおり) | |
| | 15 災害発生時の取組、施設状況の把握 | ■直ちに消防署等に通報すると共に、緊急連絡網に記載された通り関係者に対して緊急事態発生を通報し、必要な措置を講じつつ状況の把握に努める | 実施 | 実施 | — | 災害発生時の連絡、状況把握等について、必要な対応がとれるよう訓練を実施。(Ⅲ 3 9のとおり) | |
| | 16 災害時等の市への協力 | ■災害等が発生した場合、市に協力してその原因調査を行う ■大規模な災害等が発生し、行政機関において災害対策本部等が設置された場合は、その指示に従うと共に、行政機関の災害対応に協力 | 実施 | 実施 | — | 7/14・15 豪雨。異常無し。 7/17 地震発生。異常無し。 8/28 台風9号。被害無し。 9/2 台風10号。異常無し。 9/26 台風16号。異常無し。 異常気象、地震、火災等の場合、規模に関わらず文化振興課に報告。 防災訓練において、防災伝言ダイヤルに連絡訓練を実施。 | |
| 5 その他施設管理に関する事項 | 17 (追加) 光熱水費削減努力 | □光熱水費 | — | 1,323,485円 | — | 前年度比 -11.1% 稼働率向上に対して大幅な節減の達成。 【成果】 ・節減努力により施設稼働率の向上のわりに光熱水費は増加しませんでした。 【課題】 | 【評価できる点】 ・設備の点検や清掃等、きめ細やかな節電等の対応を行うことにより、光熱水費の削減に繋がったことを評価します。 【改善が必要と考えられる点】 ・設備等の不具合の早期発見にも繋がることがあることから、引き続き、注視等を求めます。 |

| IV 収支 | 評価項目 | H28年度計画 | | 実施状況 | | 評価 | |
|---------------------|-------------------------------------|--|------|------|----|--|--|
| | | 指定管理者提案(要旨) | 達成指標 | 目標 | 実績 | 説明 | 自己評価 |
| 1 適切な収支構造及び収支バランス | 1 収支構造の検証 | ■厳しい収入と欠かせない費用のバランスについて、常にチェックを行い、不適切な収入とならないように推進 | 実施 | 実施 | — | ・賃借収入 4,799,350円 対前年比 +24.7% ・新規利用団体 7団体 ・伝統芸能愛好者の育成に要する費用は、講座在籍者が若干増加した結果、わずかに改善 当期講座収支実績 -1,438,000円 | 【成果】 ・久良岐能舞台は低い知名度と交通が不便と云うリスクを持っているため、多くの事業で望ましい収支バランスを確保することが難しい状況です。そのため極力経費を抑制して事業を実施し、収支のバランスに近づける努力をしました。 ・指定管理料のみに依存しない収支構造構築のため、柱となる施設利用料の増収を図り、施設周知の向上などの成果もあって対前年比24%増の大幅な増収となりましたが、自主事業収入の不振を補いきれず、収支全体では赤字となりました。 【課題】 ・経費削減には限界があるため、支出だけではなく、収入の面でも自主事業収入の改善策を検討します。 |
| | 2 予算・決算、収入・支出のバランス | ■予算は守るべきガイドラインとして毎月の月次決算において確認し、四半期ごとに収支が適切にバランスするように運営 ■決算は月次、四半期、通期と行い、年度末においては目標とする収益が確保できるように実施 | 実施 | 実施 | — | 予算の実施に当たってはできる限り費用抑制に努め、全体として収支の均衡に努めた。 ■決算、及び収入/支出はいずれも自主事業収支によるバランスが崩れた結果、赤字に傾いた。 | |
| | 3 自主事業収支の適切なバランス | ■事業費見積の参加者数を確保するために必要な条件を検討し、それぞれの自主事業の収支の適切なバランス確保に努める | 実施 | 実施 | — | 伝統芸能の集客力が低下し、事業全体として改善を図る必要性を認識。 自主事業全体収支実績 -3,440,027円 | |
| 2 指定管理料のみに依存しない収入構造 | 4 指定管理料以外での収入確保に向けた構造づくり | ■施設稼働率は高いものの、個室別の利用率は低い部分があるため、改善を検討 ■自主事業については、主に講座の参加料収入が伸び悩んでいるため、改善を検討 | 実施 | 実施 | — | 施設の周知向上を目指す広報戦略を実施。成果が得られ、新規利用団体が7団体の増。 利用率が低い午前枠等の改善を推進。能楽囃子方のお稽古が入り、改善。 自主事業収入の落ち込みを改善するため、事業毎に改善対策を実施。効果的な成果なし。 | 【評価できる点】 ・施設の周知を積極的にを行うことにより、利用率が比較的低い午前枠の利用に繋がった点を評価します。また、婚礼写真の前撮り等、能楽等の古典芸能を優先しながら、利用がない枠の有効活用を積極的に行う姿勢を評価します。 【改善が必要と考えられる点】 ・自主事業は、参加者の満足は得られているものの、より多くの来場を促進するための取組が必要と考えます。立地条件等の制約はあるものの、久良岐能舞台ならではの環境の良さなどもあるため、多様な視点を持って検討を進めてください。 |
| | 5 戦略的かつ積極的な貸館収益の増加に向けた取組 | ■個室時間枠別にみた未利用枠の稼働を目標に、付加価値のある貸館営業を潜在的顧客に向けて多様な戦略的営業として展開し、貸館収益の向上を図る | 実施 | 実施 | — | 伝統芸能にとらわれず、能楽や茶室など和の施設特性に適する新規の利用者にも営業的に働きかけ、貸館収益の向上を図る。 多様な新規利用者を獲得。 ・婚礼写真前撮り:3団体増 ・Webビデオ等の撮影:3団体増 | |
| | 6 マーケティングを活用した事業推進による自主事業収入増加に向けた取組 | ■自主事業アンケート及び利用者に関するデータベースの分析で得られる情報により、選択的に事業収入の増加に寄与する取組を推進 | 実施 | 実施 | — | 自主事業アンケートから得られる情報からは、より自由で幅広い種類の事業が望まれており、久良岐能舞台の施設特性とのすり合わせにより事業に反映させ得る企画の推進が必要。 | |
| | 7 企業協賛、助成金等の活用によるファンドレイジングの実施 | ■自主事業に対する地域の企業等の協賛を開発し、事業収益の改善を図る ■芸術文化振興基金、地域創造等の助成金を獲得するように企画し、事業が推進しやすい資金環境を整備 | 実施 | 実施 | — | 久良岐能舞台の業務・事業への理解を深めるため、地域企業に働きかけ、協賛を得た。 久良岐まつりへの企業協賛:5社獲得 その他の助成制度についても助成金等が獲得しやすくなるよう、事業企画の段階で環境づくりを推進。 横浜市音楽祭助成金:1件獲得 | |

平成28年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

| | | | | | | | | |
|-----------------|--------------------------------|--|----|----|---|---|--|---|
| 3 経費削減等効率的運営の努力 | 8 「選択と集中」による運営経費の抑制と利用者ニーズへの対応 | ■施設運営に関するデータから見る傾向及び利用者に関するニーズの傾向から、特徴的なニーズの推進及び、施設の使命としてなすべき事業を中心に運営経費の選択と集中を図る | 実施 | 実施 | — | 中心的自主事業として能楽等の講座の運営を選択し、施設の使命として運営を推進。 自主事業全体の65%もの費用を集中し、次世代の伝統芸術愛好者の育成を図る。 | 【成果】 ・久良岐能舞台としてなすべき事業及び望まれている事業を中心に実施しました。 ・利用者アンケート、事業参加者アンケート、事業毎の事業実施報告書等による自己評価と点検により改善点を抽出し、改善を行いました。 日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を実行しました。 | 【評価できる点】 ・利用者のニーズに沿い、事業の企画や施設運営が行われていることが確認できました。また、市民の税金であり、限られた指定管理料を有効活用するために経費削減等に努める姿勢を評価します。 |
| | 9 自己点検・評価による効率的運営の実施 | ■利用者アンケート、事業参加者アンケート、事業ごとの事業実施報告書等による自己評価と点検により改善点を抽出し、改善を推進 | 実施 | 実施 | — | 自己点検・評価による効率的運営を適切に実施。 | 【改善が必要と考えられる点】 ・現状も適切に自己点検・評価、職員間での共有が行われていますが、施設のより良い運営に向けて継続的に検討を進めることを期待します。 | |
| | | ■日常的施設運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティング等を通じて検討し、直ちに改善を実行 | 実施 | 実施 | — | 日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を実行。 | | 【課題】 ・伝統芸能の集客力が低下し、事業全体として改善を図る必要性が認識されました。 |

| 評価項目 | | H28年度計画 | | 実施状況 | | 評価 | |
|------|------------|---------|----|------|----|--------------|----------------------------|
| その他 | 特記(提案事項要旨) | 達成指標 | 目標 | 実績 | 説明 | 自己評価 | 行政評価 |
| 1 | | | | | | 【成果】 【課題】 | 【評価できる点】 【改善が必要と考えられる点】 |

| 評価項目 | | H28年度計画 | | 実施状況 | | 評価 | |
|------|------------|---------|----|------|----|--|---|
| 総括 | 特記(提案事項要旨) | 達成指標 | 目標 | 実績 | 説明 | 自己評価 | 行政評価 |
| 1 | | | | | | <p>●文化事業の総括 伝統芸能の愛好者の顕著な減少傾向に対応する必要から始めた久良岐能楽講座においても年々参加者が減少しており、目前の結果を求める短期の対策と将来を見据えた長期的対策の両方に目配りする必要が強く感じられました。地元地域との協働事業「久良岐まつり」は10年目を迎え、伝統芸能の専門施設として地域の文化創造に貢献できました。</p> <p>●施設運営の総括 施設の周知に力を入れてきた結果、これまでに無い新たな利用や新規の利用者が増加し、稼働率の向上によって利用料収入が大きく増加しました。</p> <p>●施設管理の総括 庭園の樹木の巨大化等により安全や環境への懸念があったため、南部公園緑地事務所と連携して伐採等の対応を行い、適切な環境を維持することができました。</p> <p>●収支の総括 施設利用料の増加や地域企業の事業協賛などの結果、指定管理料のみに依存しない体質への向上が図れました。</p> | <p>第3期指定管理期間の初年度から、提案内容の実現に向けて努力を行う姿勢が見られたことを高く評価します。特に、古典芸能の愛好者を増やすため、子どもを中心とした次世代育成に積極的に取り組むことや、他施設の利用団体への活動活性化に向けた営業活動・利用団体の会員募集を行うなど、過年度から継続していることにとどまらず、新たな取組を行っていることが確認できました。引き続き、PDCAを意識するとともに利用者等のニーズに合わせたきめ細やかな対応を行ってください。</p> <p>事業面については、能や狂言の公演等多くの来場者があり、施設特性を生かした内容であったことから、来場者の満足度が高く実施が期待されていると考えられるため、定期的な実施の検討を進めてください。一方、参加者数が目標に達しなかった公演、能楽や日本舞踊の講座等は、広報手法の見直しや対象者の再検討等を進め、古典芸能に関わる人々のすそ野の拡大に向けたさらなる寄与を期待しています。</p> <p>施設運営においては、新規利用者の増加等により、利用料金収入の大幅な増加など、指定管理料のみに依存しない収支構造の確立を推進したことを評価します。</p> <p>施設管理に関しては、引き続き、職員間や本市との情報共有を徹底することにより、適切に施設を維持管理することを求めます。</p> <p>第3期指定管理期間の使命である文化的コモンズの形成を実現し、地域を中心とした古典芸能の文化拠点として、多様な市民から愛される施設を目指してください。</p> |